

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年 7月30日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	株式会社わくわくカンパニー大多喜	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 千葉県、夷隅郡、大多喜町	
所在地	千葉県夷隅郡大多喜町大多喜270-1	
設立時期	平成30年8月27日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	15人【常勤10人（正職員9人・出向等1人）、非常勤5人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 平 林 昇 （出身組織名） 大多喜町長	大多喜町長 1991年から2021年まで平林物産（株）の代表取締役を務め、30年以上にわたり、企業の経営を担う 2012年から2021年まで大多喜町商工会会長を務め、2022年1月から現職。 【現職】 大多喜町長 夷隅郡市広域市町村圏事務組合副管理者 夷隅環境衛生組合副管理者 国保国吉病院組合副管理者 いすみ鉄道株取締役 いすみ鉄道対策協議会会長 有たけゆらの里大多喜取締役社長
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 鳥居 浩「専従」 （出身組織名） （一社）大多喜町観光協会	（一社）大多喜町観光協会事務局長 大学卒業後、郵政省千葉中央郵便局、郵政省木更津郵便局等を経て、1993年から2012年まで日本郵便株大多喜郵便局長として勤務。2012年より2020年3月まで観光協会事務局長の職に就き、地域の観光活性化を担う。 【実績】 2003年簡易保険事業年度優績（日本郵政公社総

		裁) 2006年郵便事業優績（日本郵政公社関東支社長） 2007年郵便事業優績（日本郵政公社総裁） 2019 年瑞宝双光章受賞
財務責任者 （ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 米本 和弘「専従」 （出身組織名） 大多喜町役場	大多喜町役場で４５年間勤務。 持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
取締役（非常勤）	（氏名） 高橋 喜彦 （出身組織名） 高橋林業(株)	高橋輪業(株)代表取締役（自動車整備業） 【主な公職】 大多喜町商工会会長
取締役（非常勤）	（氏名） 富澤 真実 （出身組織名） (有)滝見苑	(有)滝見苑代表取締役（旅館業） 【主な公職】 全国旅館ホテル組合監事 大多喜町観光協会理事
取締役（非常勤）	（氏名） 横尾 隆義 （出身組織名） (株)47partners	1986 年ＮＥＣ入社後、ＣＣＣ(株)（カルチュアコンビニエンスクラブ）をはじめ各社で新規サービスの立ち上げに従事。 Ｔカード、セブンドリーム（現セブンネット）、ファミマドットコム、ときめきドットコムの構築。 その後、保育事業や飲食ビジネス、(株)マイナビ地域創生では代表取締役として、地方創生や廃校・古民家などを活用した地域商社化を推進。現在は、(株)47partners 代表取締役としてトップ人材を牽引。
取締役（非常勤）	（氏名） 中村 庸一郎 （出身組織名） (株)仲潮組	(株)仲潮組会長（土建業）
監査役（非常勤）	（氏名） 吉野 敏和 （出身組織名） 一般町民	元千葉県職員 【主な公職】 農地利用最適化推進委員、集落支援員
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	・ 大多喜町商工観光課 ・ 大多喜町企画課	
連携する事業者名及び役割	・ （一社）大多喜町観光協会 ・ 養老溪谷観光協会 ・ 養老溪谷旅館組合（宿泊） ・ 小湊鉄道(株)（交通・送客）	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ いすみ鉄道(株) (交通・送客) ・ (有)たけゆらの里大多喜 (地産地消) ・ (株)千葉銀行 (運営支援) ・ (株)ちばぎん総合研究所 (調査業務支援) ・ 銚子信用金庫 (運営支援) 						
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】①</p> <p>○当社の株主は、行政（大多喜町）、町内事業者4名（農業用品販売業者（平林物産(株)）・旅館業者（(有)滝見苑）・自動車整備業者（高橋輪業(株)）・土木工事業者（(株)仲潮組））と幅広い分野の代表者が参画している。</p> <p>○当社の取締役は、町長、元観光協会事務局長、商工会長、大多喜町観光協会理事など町内主要事業者と(株)47partners代表であり、3か月毎に取締役会を開催することで、地域での合意形成を図っている。</p> <p>【該当する登録要件】②</p> <p>○地域のボランティア団体や自治会メンバー及び行政や関係団体をメンバーとする、養老溪谷もみじ植栽プロジェクトを設置し、定期的な会議やもみじの植栽、もみじ周辺の除草作業活動を実施している。</p>						
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>定期的に住民参加型のワークショップを開催するほか、地域住民への啓発を目的とした会議を開催</p> <p>開催日 令和5年11月10日 養老溪谷紅葉植栽プロジェクト 令和6年2月13日 養老溪谷紅葉植栽プロジェクト</p>						
法人のこれまでの活動実績	<p>活動の概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> <p>○2019年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社ホームページ作成 ・ 観光情報サイト「城と温泉の町・大多喜観光ガイド わくわく大多喜」開設 <p>○2019年4月</p> <p>「大多喜町の歴史的資源を活用した観光まちづくりに関する連携協定」リリース</p> <p>関係者：当社、大多喜町、(株)マイナビ地域創生、(株)千葉銀行</p> <p>○2020年12月</p> <p>山の駅養老溪谷喜楽里のホームページ開設</p> <p>○2023年4月</p> <p>大多喜ロケーションサービス ホームページ開設</p> </td></tr> <tr> <td>受入環境の整備</td><td> <p>○2018年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内交通調査「大多喜城下町における2次交通の企画提案」の実施 <p>○2019年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場4か所の指定管理受託及び整備（栗又駐車場、城下駐車場、麻綿原駐車場、桜台駐車場） </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<p>○2019年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社ホームページ作成 ・ 観光情報サイト「城と温泉の町・大多喜観光ガイド わくわく大多喜」開設 <p>○2019年4月</p> <p>「大多喜町の歴史的資源を活用した観光まちづくりに関する連携協定」リリース</p> <p>関係者：当社、大多喜町、(株)マイナビ地域創生、(株)千葉銀行</p> <p>○2020年12月</p> <p>山の駅養老溪谷喜楽里のホームページ開設</p> <p>○2023年4月</p> <p>大多喜ロケーションサービス ホームページ開設</p>	受入環境の整備	<p>○2018年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内交通調査「大多喜城下町における2次交通の企画提案」の実施 <p>○2019年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場4か所の指定管理受託及び整備（栗又駐車場、城下駐車場、麻綿原駐車場、桜台駐車場）
事業	実施概要						
情報発信・プロモーション	<p>○2019年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社ホームページ作成 ・ 観光情報サイト「城と温泉の町・大多喜観光ガイド わくわく大多喜」開設 <p>○2019年4月</p> <p>「大多喜町の歴史的資源を活用した観光まちづくりに関する連携協定」リリース</p> <p>関係者：当社、大多喜町、(株)マイナビ地域創生、(株)千葉銀行</p> <p>○2020年12月</p> <p>山の駅養老溪谷喜楽里のホームページ開設</p> <p>○2023年4月</p> <p>大多喜ロケーションサービス ホームページ開設</p>						
受入環境の整備	<p>○2018年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内交通調査「大多喜城下町における2次交通の企画提案」の実施 <p>○2019年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場4か所の指定管理受託及び整備（栗又駐車場、城下駐車場、麻綿原駐車場、桜台駐車場） 						

	<p>観光資源の磨き上げ</p> <p>○2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大多喜町より以下の各種観光戦略策定業務を受託 <ol style="list-style-type: none"> ①「大多喜町観光総合戦略策定業務」受託 ②「大多喜県民の森周辺を活用した観光活性化基本計画策定業務」受託 <p>○2019 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 胡蝶蘭の販売 <p>○2020 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養老溪谷出世観音登録商標取得（日本酒、菓子） ・ 養老溪谷観光センター運営共同企業体を設立し、養老溪谷観光センターの指定管理受託 ・ 令和2年度養老溪谷もみじ植栽プロジェクト事業 <ol style="list-style-type: none"> ①養老溪谷を中心に紅葉 62 本の植栽を実施 ②小学生を対象にもみじの里教室を実施 <p>○2021 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度養老溪谷もみじ植栽プロジェクト事業 <ol style="list-style-type: none"> ①養老溪谷を中心に紅葉 158 本の植栽を実施 ②小学生を対象にもみじの里教室及び植栽を実施 ・ 埋もれていた地域資源を「遠見の滝」と命名し観光スポットとして情報発信 <p>○2022 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度養老溪谷もみじ植栽プロジェクト事業 <ol style="list-style-type: none"> ①養老溪谷を中心に紅葉 128 本の植栽を実施 ②小学生を対象にもみじの里教室及び植栽を実施 ・ ふるさと納税返礼品取扱業務を開始し町内観光資源の情報発信を実施 <p>○2023 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度養老溪谷もみじ植栽プロジェクト事業 <ol style="list-style-type: none"> ①養老溪谷を中心に紅葉 117 本植栽を実施 ②小学生を対象にもみじの里教室及び植栽を実施 ・ ロケーションサービス事業を開始し、町内資源の情報を発信 <p>【定量的な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社わくわくカンパニー大多喜 HP アクセス数 8,280 件 ・ 養老溪谷観光センター（山の駅養老溪谷喜楽里）HP アクセス数 25,450 件 ・ ロケーションサービス HP アクセス数 3,707 件 ・ 駐車場指定管理業務 売上 4,538 千円 ・ 登録商標「養老溪谷出世観音」売上 2,297 千円 ・ 商品売上 2,060 千円 ・ ふるさと納税返礼品業務売上 5,283 千円 ・ バーベキュー場売上 57 千円 ・ ロケーションサービス事業売上 2,234 千円 ・ 町内観光コンテンツ造成支援事業売上 4,000 千円
--	--

実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

行政・町内事業者・町外事業者が出資する㈱わくわくカンパニー大多喜（観光地域づくり法人）が中心となり、地域関係者との連携、地域での合意形成を図る。

【観光協会との共存】

- ・2020年4月より、観光協会事務局長が㈱わくわくカンパニー大多喜の取締役役に就任しており、㈱わくわくカンパニー大多喜と大多喜町観光協会は、共に地域の観光振興のため、実施事業のモレとダブリを無くすことで両者の事業が相乗効果を生み出すように協力していく。
- ・観光協会の主な業務は、土産物店の運営、まつりの開催、レンタルサイクル・人力車の運営、町並み案内、観光施設の環境美化など。
- ・㈱わくわくカンパニーの業務は、駐車場指定管理事業の管理運営（3か所）、ふるさと納税返礼業務のほか新しい事業を担う。
- ・2020年度では、新たに養老溪谷観光センター指定管理による施設管理運営、もみじ植栽事業を実施し、観光協会との住み分けを図った。
- ・プロモーションについては両者の得意分野を効果的に活かすため、協議を重ね、活動がダブらないように実施する。

【観光地域づくり法人の株主】

- ・株主は、大多喜町（8割）、町内事業者4名の5者。
- ・町内事業者は、農業用品販売業、旅館業、自動車整備業、土木建設業と幅広く、地域の有力事業者である。

【観光地域づくり法人の役員】

- ・代表取締役に大多喜町長（行政）、常勤取締役に実務者である元観光協会事務局長、非常勤取締役に町内主要事業者3名が参画。
- ・町内事業者は、商工会長、観光協会理事も兼任しており、地域の観光事業者の合意形成が可能である。

【連携先】

- ・観光協会、鉄道事業者（小湊鉄道、いすみ鉄道）、道の駅（たけゆらの里大多喜）、地域金融機関（千葉銀行、銚子信用金庫）と連携し、地域PR、地場産品の販売・商品開発、観光センターの指定管理、観光拠点整備、地域施設の利活用、イベント開催等を行う。

役割分担図】

区 分	構 成 員	役 割
行政	大多喜町商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・出資 ・代表取締役 ・人材派遣 ・地元住民・地元企業との調整
町内事業者	大多喜町観光協会 大多喜町商工会 養老溪谷旅館組合 養老溪谷観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・出資 ・取締役 ・地域の合意形成支援
地域金融機関	㈱千葉銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・融資 ・事業者のマッチング ・経営伴走

	<p>その他連携先</p>	<p>いすみ鉄道(株) 小湊鉄道(株) (有)道の駅たけゆらの里大多喜 銚子信用金庫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション連携 ・イベント企画、連携 ・受入環境整備 ・伴走支援 等
	<p>【実施体制図】</p> <pre> graph TD A[株主: 大多喜町(行政)・町内事業者4社] -- 出資 --> B[株式会社わくわくカンパニー大多喜] B --> C[代表取締役
(大多喜町長)] C --- D[監査役
(町民)] C --- E[常勤取締役
(元大多喜町役場職員)] C --- F[非常勤取締役
(商工会会長)] C --- G[非常勤取締役
(観光協会理事)] C --- H[非常勤取締役
(元マイナビ理事)] C --- I[非常勤取締役
(町内事業者)] B -- 連携 --> J[観光協会
鐵道事業者(いすみ鉄道)
道の駅(たけゆらの里大多喜)
地域金融機関(銚子信用金庫)] B -- 伴走支援 --> K[千葉銀行(地域金融機関)
ちばきん総合研究所] </pre>		

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



大多喜町	
総面積 129.87 平方kmと千葉県の町村で最も広大な面積を有し、森林が総面積の約 70% を占める緑に包まれた町	
人口	8,163 人
2024 年 1 月時点	男：4,027 人 女：4,136 人

【区域設定の考え方】

(1) 大多喜町の地勢

大多喜町は房総半島のほぼ中央に位置し、総面積 129.87k m²と県内の町村で最も広大な面積を有し、総面積の約 7 割を森林が占める。水と緑に囲まれた豊かな自然が織りなす四季折々の景観と、大多喜城のもとに栄えた城下町の歴史が色濃く残る町である。

東京および成田空港から車で約 80 分の距離にあり、平成 25 年には首都圏中央連絡自動車道「市原鶴舞 IC」の供用が開始されるなど道路網の整備により、関東圏からの交通アクセスも向上している。

(2) 特徴ある 2 つのローカル鉄道「小湊鐵道」と「いすみ鉄道」

小湊鐵道は、地域住民が作り上げた菜の花畑を堪能できる「里山トロッコ列車」や、昭和初期に建設され今も利用される木造駅舎（国登録有形文化財）など、レトロ感に溢れている。廃線危機にあったいすみ鉄道も、ムーミン列車やレストラン列車が人気を呼び、訓練費用自己負担運転士や公募社長なども話題となっている。両鉄道とも、地域住民や観光客の単なる交通手段だけではなく、“撮る”“乗る”ことを目的とする観光客を集める地域の重要な観光資源となっている。

(3) 大多喜町の歴史

当地域の歴史は古く、町内には先土器・縄文時代の遺跡をはじめ多数の文化財がある。1590 年の徳川家康の関東入国を機に徳川四天王のひとり本多忠勝が近世大多喜城を築城、以後 300 年にわたり上総文化の中心地となった。明治 4 年の廃藩以降、大多喜県、木更津県、千葉県へと行政圏が移行し、昭和 29 年に旧大多喜町、上瀑村、総元村、西畑村及び老川村が合併し、現在の大多喜町が誕生した。

(4) 人口推移

大多喜町の人口は、ピークであった昭和 22 年には 20,431 人であったが、その後、都市部への若年層の流出と出生率の低迷により急速に減少が進み、平成 22 年に過疎地域に指定された。令和 5 年 3 月末時点の人口はピーク時から半減以下の 8,284 人となっているが、令和 7 年には 8,005 人まで減少する見通しである（国立社会保障・人口問題研究所調べ）。人口構成では、若年層が減少して高齢者が増加しており、昭和 55 年に 16.0%であった 65 歳以上の人口は令和 4 年には 43.2%に達し、高齢化も急速に進んでいる。

(5) 産業構造（RESAS 等調べ）

大多喜町には大企業や大規模工場がなく、約 400 社ある中小企業が雇用の受け皿となっている。町内の就業人口は減少が続き、過去 10 年間で約 2 割減少して約 4,300 人となった。本町には毎年 100 万人（町人口の 109 倍）を超える観光客が訪れ、町内就業人口の約 1/4 が観光関連事業に携わるなど、観光業が大多喜町の産業の中心となっている。

【観光客の実態等】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
観光入込客数	1,079,157	912,237	965,029	1,053,928	989,881	1,253,506
宿泊客数	37,545	33,606	25,750	30,191	40,425	33,488
消費額		4,253	4,534	5,205	5,400	5,241

※千葉県「観光入込客数調査」の拠点施設の入込数字となっている。

- ・2018 年度までの町の観光入込客数は、1,000 千人を超えて推移していたが、2019 年度・2020 年度と 1,000 千人を切る状況となったが、2021 年度には 1,053,928 人まで回復した。2022 年度は大多喜城の一時休館により減少となった。2023 年度は調査地点 1 か所の増加により 1,253,506 人となった。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

※観光資源の活用方法についても記入すること。

(1) エリア別の魅力的な観光資源

①大多喜城を中心に古民家が集積する城下町地域

大多喜町中心部の城下町通りには、国指定重要文化財のほか 6 件の国登録有形文化財があり、江戸時代から変わらぬ佇まいを残す建物が昔を偲ばせる。町では、城下町大多喜の歴史や文化を活かしたまちづくりを行うべく、平成 12 年度から「街なみ環境整備事業」を開始しており、条例を制定して店舗や住宅等の改築や石畳・店頭看板の設置など、景観整備を進めてきた。

(城下町地域の主な歴史的建造物)

施設名	概要
渡辺家住宅	1849 年建築、国指定有形文化財
大屋旅館	1885 年頃の建築 国登録有形文化財、江戸時代後期から続く老舗旅館 正岡子規も宿泊したことがある
豊乃鶴酒造	1874 年建築の国登録有形文化財、天明年間創業の酒屋 代表銘柄は本醸造原酒「大多喜城」
伊勢幸酒店店舗兼主屋	1872 年建築の国登録有形文化財、大手門の材料の一部を使用して建築された商家で、屋根瓦に城主の紋所があった
穴倉弥兵衛商店店舗兼主屋	1874 年建築の国登録有形文化財、醤油の醸造場所と商店兼住宅として建築された。
大多喜町役場中庁舎	1959 年建築の国登録有形文化財
商い資料館	2001 年オープンの資料館
釜屋	1876 年建築の土蔵造りの商家 2020 年観光交流施設としてリニューアルオープン

上記のほか、町の観光情報の発信拠点として「観光本陣」があり、町の特産物の販売や人力車等による町内案内サービスを提供している。

②緑豊かな自然 県民の森地域

大多喜町は、県下でも有数の竹林面積を有し、春先には多くの観光客がタケノコ狩りやタケノコ料理、地域の伝統工芸である竹細工作り体験を楽しんでいる。房総丘陵の緑豊かな森林の一画に建設された「大多喜県民の森」は、大多喜城下町から 1.5 km とアクセスも良く、気軽に自然を満喫できる施設として町民の憩いの場となっている。

また、県民の森周辺には、天守閣作りの歴史博物館である大多喜城があり、年間約5万人～6万人が訪れる。

(県民の森地域の観光資源)

観光資源	概要
大多喜県民の森	総面積 61ha の森。竹笹園、遊歩道、キャンプ場、竹工芸センター、タケの情報館がある。
大多喜城 (県立中央博物館大多喜城分館)	徳川四天王のひとり本多忠勝を初代城主とし、現在は本丸跡に天守閣づくりの歴史博物館。城跡は千葉県指定史跡。続日本 100 名城に選出されている。
Mitosaya 薬草園蒸留所	蒸留についての学びや、珍しい蒸留酒を楽しめます。

③温泉・渓谷・紅葉が楽しめる養老渓谷地域

養老川によって形成された養老渓谷は、関東一遅い紅葉が楽しめる千葉県内有数の観光地である。渓谷の周辺には散策を楽しめる遊歩道が複数あり、県内最大級の「栗又の滝」をはじめ大小様々な滝を楽しむことができる。また、黒湯と呼ばれる有色天然温泉と 11 軒の温泉旅館、77 万年前の地球の磁場逆転を証明する地層「チバニアン」、都内からもっとも近くきれいな星空、夜に飛び交うホタルなど魅力的な観光資源があり多くの観光客が訪れている。

(養老渓谷地域の観光資源)

観光資源	概要
養老渓谷観光センター(山の駅 養老渓谷喜楽里)	養老渓谷の観光情報の発信拠点であり、地元野菜の直売や土産物の販売、食堂の運営等を行う。
養老渓谷(栗又の滝・滝めぐり 遊歩道・中瀬遊歩道)	県内有数の温泉地であり、関東一遅い紅葉を楽しめる。
麻綿原高原(妙法生寺)	妙法生寺境内を中心に約 2 万株のアジサイが植えられている。
RE WILD RIVER SIDE GLAMPING HILL	女性向けのグランピング施設。
旧老川小学校会所分校	2001 年に閉校した旧老川小学校会所分校を改装し、2004 年よりそば屋「もみの木庵」をオープン。土日のみの営業。
黒湯(天然温泉)	黒湯と呼ばれる天然温泉があり多数の温泉旅館が営業。
チバニアン(千葉時代)	地質時代の名称。市原市の約 77 万年の地層「千葉セクション」が地質時代のポイントとして日本で始めて認定された。
紅葉	養老渓谷では関東一遅い紅葉が楽しめる。
星空	山林に囲まれた地形から都心から最も近い「夏の天の川」が見える地域。「冬の天の川」も見え、天体観測にも好ましい地域。
ホタル	養老川流域にはヘイケボタルが生息し、ホタルツアーなどが実施されている。

④上記エリア外の観光施設

近年では古民家を活用した観光まちづくりとして、民間事業者の事業者誘致に成功している。

観光資源	概要
古民家の宿「まるがやつ」	2017 年 6 月オープンの一棟貸し古民家宿泊施設。キャンプ場を併設しており、里山体験など体験メニューを揃えている。
里山古民家宿「和信庵」	2019 年 10 月オープンの一棟貸し古民家宿泊施設。
大多喜ハーブガーデン	ペットも入れる 4,500 m ² を越える広さの室内ガラスハウスガーデン。ハーブ摘みなどを開催。2016 年 4 月リニューアル。

道の駅たけゆらの里おおたき	地元生産者の野菜を販売。猪の解体施設を併設し、地元で捕獲された猪肉を使用したジビエ料理も楽しめる。
ゆば喜	ゆばの製造・販売拠点。商品ラインナップが豊富で地元住民に人気がある。

(2) 地域独自の体験メニュー

①地域特性を活かした多くの観光体験メニュー。

【体験メニュー 一覧（抜粋）】

- ・城下町での手作り甲冑教室
- ・地域特産の竹を使った竹細工作り
- ・地域特産のタケノコ狩り
- ・蕎麦打ち体験
- ・人力車、レンタサイクルでの町めぐり
- ・ハーブ摘み
- ・古民家施設と連携したキャンプやバーベキュー、農業体験、里山体験など、町内の事業者が特徴ある独自の観光メニューを展開している。



②地域の祭りも活気があり、本多忠勝候一行に扮した武者行列や神輿の渡御が城下町に繰り出す「お城まつり（9月下旬～10月上旬頃）」には、毎年1～2万人（2日間開催）の観光客が押し寄せる。
【季節のお祭り】大多喜レンゲまつり、大多喜お城まつり、養老溪谷もみじまつり、大多喜さくらまつり

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	宿泊施設名	定員	客室数
1	古民家貸別荘 中野屋	22	1棟
2	広丞庵：かのか	3組	3
3	ホテルグリーンヒル大多喜	114	33 (洋室9：和洋室24)
4	大屋旅館（国登録有形文化財）	30	6
5	Resort View 大多喜	30	15
6	蔵の宿	20	2
7	食べるお宿 鶴乃家	25	6
8	喜代元	32	8
9	養老溪谷 嵯峨和	80	15
10	民宿さかや	40	12
11	小さな旅の宿 天龍荘	45	11
12	温泉旅館 川の家	35	8
13	溪流の宿 福水	55	11
14	溪谷別庭 もちの木	60	15
15	民宿ひらさわ	18	3
16	秘湯の宿 滝見苑	164	34
17	古民家の宿 まるがやつ	19	2棟
18	古民家ゲストハウス わとや	8	2
19	和信庵 WASHIN-AN	9	1棟

【利便性：区域までの交通、域内交通】

(1) 高速バス利用

東京駅～大多喜間 1時間 20分

(2) 電車利用

東京駅～大原駅 70分（特急わかしお号）大原駅～大多喜駅 30分 合計 1時間 40分

(3) 車利用の場合

圏央道「市原鶴舞 IC」から約 12 km



【外国人観光客への対応】

31 言語に対応した多言語音声翻訳アプリ「Voice Tra」を活用し、人的リソースの不足、インバウンド対応スキル不足の解決を行っている。

Castle Town Walk Route Recommendations (※) 参考情報です。コース

30-minute Route (30分コース)
Kanko-honjin Tourist Center → Watanabe Family Residence → Aikawai Shiryokan Trading Museum → Otaki Town Hall, UNESCO Asia-Pacific Intangible Prize awarded → Kanko-honjin Tourist Center
観光本館 → 渡辺家住宅 → 会沢資料館 → 会沢商會館 → 観光本館

1-hour Route (1時間30分コース)
Kanko-honjin Tourist Center → Watanabe Family Residence → Aikawai Shiryokan Trading Museum → Toyonotsura Sake Brewing → Otaki Elementary School → Kanko-honjin Tourist Center
観光本館 → 渡辺家住宅 → 会沢資料館 → 会沢商會館 → 大寺小学校 → 観光本館

2-hour Route (2時間コース)
Kanko-honjin Tourist Center → Watanabe Family Residence → Aikawai Shiryokan Trading Museum → Otaki Town Hall, UNESCO Asia-Pacific Intangible Prize awarded → Kanko-honjin Tourist Center
観光本館 → 渡辺家住宅 → 会沢資料館 → 会沢商會館 → 大寺小学校 → 観光本館
観光本館 → 渡辺家住宅 → 会沢資料館 → 会沢商會館 → 大寺小学校 → 観光本館

Telephone numbers

(注意) 電話番号は、電報局のエリアコードは 0470 です。

Accommodations (宿泊)

- ① Oyayokan 大湯温泉 082-2020 100
- ② Otaki Resort Hotel 大寺リゾートホテル 082-5311 100
- ③ Hakanoya old private house for rent 会沢本館 082-3607 100
- ④ Kozu-an Kanaka 会沢 かのか 080-0080 100
- ⑤ Sevenside ペンションセブサイド 0436-96-1126 100
- ⑥ Tsurunoya 大寺温泉 観光本館 0436-96-0500 100
- ⑦ Sakaya 会沢 かつや 083-0252 100
- ⑧ Hirasawa 会沢 びらさわ 084-0130 100
- ⑨ Ichiha 会沢 一いち 083-0363 100
- ⑩ Resort View Otaki リゾートビュー大寺 080-1118 100

Restaurants (レストラン)

- ① Restaurant Banzo 会沢 ばんそう 080-1110 100
- ② Restaurant Yosaku 会沢 よしやく 082-5439 100
- ③ Sushi restaurant Mitsuki 会沢 みたすき 082-5122 100
- ④ Pook Uotai Restaurant Arika 会沢 ありか 082-2007 100
- ⑤ Soba Noodle restaurant Kanaya 会沢 かなや 082-2757 100
- ⑥ Kurayyo 会沢 くらや 082-4649 100
- ⑦ Soba Noodle restaurant Uchida 会沢 うちだ 082-4491 100
- ⑧ Restaurant Ikkan 会沢 いかん 085-0706 100
- ⑨ Restaurant Kiyoe 会沢 きのよ 085-0820 100
- ⑩ Handmade soba Yui 会沢 ゆい 085-0885 100
- ⑪ Local cuisine Takenoko 会沢 たけのこ 084-0368 100
- ⑫ Restaurant Rikyosi 会沢 りきよし 082-4568 100
- ⑬ Tengujiya trahouse Isigamiten 会沢 いしがみ 082-5057 100
- ⑭ Handmade soba - udon Aoi 会沢 あい 082-5558 100
- ⑮ Roast aroma studio Hagi 会沢 はぎ 082-3446 100
- ⑯ Sushi restaurant Takezumi 会沢 たくずみ 082-3621 100
- ⑰ Handmade ramen Rairai 会沢 らいらい 082-5043 100
- ⑱ Shiguru Main restaurant 会沢 しぐら 082-4588 100
- ⑲ Restaurant Asunaro 会沢 あすなろ 082-4581 100
- ⑳ Ramen restaurant Tonta 会沢 とんた 082-4787 100
- ㉑ Seafood Bokutei 会沢 ぼくてい 082-5601 100
- ㉒ Restaurant Tozjin 会沢 としじん 082-4996 100

- ① Restaurant Kien 会沢 けん 082-5678 100
- ② Restaurant Nakanosima 会沢 なかのしま 082-2561 100
- ③ Self roast coffee mameyoshi 会沢 まめよし 080-1319 100
- ④ Resort View Otaki リゾートビュー大寺 080-1212 100
- ⑤ Wababe 会沢 わべ 084-0354 100
- ⑥ Chusenryu 会沢 ちせんりゅう 084-0343 100
- ⑦ Shopping Plaza Olive ショッピングプラザオリブ 080-1200 100
- ⑧ Restaurant Uno レストランワン 084-4955 100
- ⑨ Tenrey 会沢 てんれい 082-4100 100

- ① Otaki (会沢) 大寺 (0470) 082-2161 100
- ② Konishi Bus Otaki Garage 会沢 こんし 082-2821 100
- ③ Otaki Taxi 大寺 タクシー 082-2731 100

- ① Souvenirs (お土産) 080-1146 100
- ② Kanko-honjin Tourist Center 観光本館 082-2553 100
- ③ Sweets Fukudaya 会沢 ふくだや 082-2255 100
- ④ Sweets Tsuchiya 会沢 つちや 082-2026 100
- ⑤ Toyonotsura Sake Brewing 会沢 豊野 082-2143 100
- ⑥ Isoko Handmade Craft 会沢 いそ 082-3217 100
- ⑦ Yubaki 会沢 ゆばき 082-3213 100
- ⑧ Kawatoya 会沢 川屋 084-6077 100

Telephone Numbers and web-sites, Accommodations with Spa at Yoroikekoku-onenkyo

温泉と宿泊施設が併設された温泉旅館のリスト

- ① Kiyomoto 会沢 0436-96-0345 (1)
- ② Sagawa 会沢 0436-96-0345 (1)
- ③ Tenryo 会沢 0436-96-0345 (1)
- ④ Kawanaya 会沢 0436-96-0345 (1)
- ⑤ Fukui 会沢 0436-96-0345 (1)
- ⑥ Hoshino 会沢 0436-96-0345 (1)
- ⑦ Takimori 会沢 0436-96-0345 (1)
- ⑧ Goryokumaru 会沢 0436-96-0345 (1)



3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	大多喜町駅前にある町の観光拠点である観光センター「観光本陣」及び「山の駅養老溪谷喜楽里」にてアンケート調査を自主事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	各宿泊施設の報告を大多喜町が集計して、毎年千葉県が「観光入込調査」と併せて、自治体ごとの宿泊者数を公表している。そのため継続的に数値を収集することが可能。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	大多喜町駅前にある町の観光拠点である観光センター「観光本陣」及び「山の駅養老溪谷喜楽里」にてアンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	大多喜町駅前にある町の観光拠点である観光センター「観光本陣」及び「山の駅養老溪谷喜楽里」にてアンケート調査を自主事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	株式会社わくわくカンパニー大多喜のHP、山の駅養老溪谷喜楽里 HP 及びロケーションサービス HP のアクセス数をグーグルアナリティクスにより計測する。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

大多喜町の観光地域づくりにおける課題としては、以下の4点が挙げられる。

(1) 地域の特性を活かした、若者を惹きつける働く場がないこと

進学や就職を機に町を離れる若者が後を絶たない。まちが独自に実施した町民向けアンケートでは、6割超の若者が「地元で就職したいと思わない」と答えており、うち8割以上が「地元で就職を志望する企業がない」ことを挙げている。

(2) 安心して出産・子育てができる環境がないこと

1990年代後半に80-100人程度であった町の年間出生数は、近年は50人前後に減少している。合計特殊出生率も全国や千葉県を下回り、少子化が深刻な課題となっている。町民向けアンケートでは、実際の子供の人数が理想よりも少ないとの回答が出ており、その理由として4割の町民が経済的理由を挙げていることから、地域における仕事の量と安心して生活できる質の高い働く場（賃金、雇用形態等）が不足していると認識している。

(3) 魅力的なまちをつくりていないこと、守れていないこと

①城下町通りは観光客の散策スポットとして高い人気があるが、人口減少や高齢化を背景に通り沿いには空き家・空き店舗が増え、歴史的資源である古民家・商家も取り壊されるなど、歴史ある町の景観が損なわれつつある。

②進学や就職を機に子世代が町外へ転出した家庭では、相続発生時に住居を空き家として放置するか取り壊すことが多い。町職員が目視で調査をしたところ、町内には約230軒の古民家が現存

し、うち 50 軒が空き家となっていた。長年利用されず劣化が進む建物も多く、今後、守っていくべき貴重な古民家の解体の増加が懸念される。

(4) 魅力の高い交流の場がないこと

- ① 町民の憩いの場であり、観光客との交流の場でもある大多喜県民の森は、61ha の広大な敷地内に遊歩道、芝生広場、展示施設、宿泊施設などを併設する、千葉県内に 6 つある県民の森のひとつである。自然環境が豊かな一方で、施設内のコンテンツに変化が無く、利用者のニーズを捉えきれていないため、年間利用者数は 66 千人に止まっている。
- ② 県内有数の観光地である養老溪谷エリアには、天然の観光資源や温泉旅館、町営物販施設などが揃い、多くの観光客が訪れている。しかし近年は、交通利便性の向上で日帰り観光が主流となり、当地区の宿泊客数は年々減少している。隣接する町営物販施設では、来客数は多いものの売上に結び付いておらず、地域の観光資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、有効に活用できていないという課題がある。

本町が抱える課題を解決し、「大多喜町総合戦略」を達成するため、町は主要産業である観光振興を起点に地方創生の実現を目指している。2018 年度から、町では、観光資源等の調査や地域の合意形成を着実にすすめており、新たに 2025 年度までの計画である「観光総合戦略」および地域別のアクションプランである 3 つの「基本計画」の立案を実施している。

計画の実施主体は官民で共同設立した DMO である(株)わくわくカンパニー大多喜であり、官民が協力した「オール大多喜町」の体制でスピード感を持って計画を実現することを目指す。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) 雄大な自然景観と温泉や城の観光資源 <ul style="list-style-type: none"> ・本多忠勝ゆかりの城下町としての歴史 ・首都圏住民が旅行に期待するコンテンツのランキング上位（自然・温泉・歴史）が揃う ・温泉旅館・古民家宿泊施設などが提供する良質の宿泊サービス ・たけのこ・地酒など特徴のある「食」の素材 ・都心から車で 80 分の利便性 ・関東一遅い紅葉の楽しめる養老溪谷 ・2 つのローカル鉄道など固定ファンがいる 	弱み (Weaknesses) 知名度の集中と秘境ゆえの交通網の脆弱さ <ul style="list-style-type: none"> ・日帰化による宿泊客数の伸び悩み ・ブランド力ある土産・料理の不足 ・大多喜城や養老溪谷など一部を除き、町内の魅力ある多くの資源の知名度が低い ・紅葉時期の渋滞・観光トイレ不足など受入れ環境整備が不十分 ・二次交通網の受入体制整備が不十分 ・インバウンド誘客の取組の遅れ ・観光振興を担う人材不足
外部環境	機会 (Opportunity) 県内観光資源との連携と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・国主導の DMO 構築を含め観光地経営への機運の高まり ・歴史ファン・鉄道ファンの存在 ・木更津アトレット、濃溝の滝、パ・コアンなど周辺に人気の観光スポットが点在 ・圏央道開通による都心・成田方面へのアクセス向上 ・SNS の浸透など情報入手・発信手段の多様化 ・国・県による観光振興に向けた各種施策の実施 	脅威 (Threat) コロナウイルスと自然災害リスク <ul style="list-style-type: none"> ・感染症による観光客減少と事業者の対策負担増 ・自然災害リスクの高まり ・人口減少による国内旅行者の減少 ・空き屋の増加や旅館廃業等による景観の悪化 ・他自治体との競争激化

※上記に加え、P E S T分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層

温泉・渓谷・紅葉・豊かな自然に興味を持つ顧客

○選定の理由

養老川を囲む養老渓谷は、遊歩道沿いの大小様々な滝や、紅葉やホテル、星空など天然の観光資源や温泉旅館が揃い、多くの観光客が訪れていた。しかし近年は日帰り客、宿泊客数ともに減少しているため、魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、発信することで、一定数の自然に興味がある顧客層を取り込めるため選定。（令和５年度の養老渓谷観光センターへの来訪者数 120,685 人）

○取組方針

2020 年度にマーケティング調査や地域との合意形成をすすめ、「養老渓谷を活用した観光活性化基本計画」を策定する。施策の一部を町と協力して実施する。

〔内容〕

①養老渓谷観光センターの運営（指定管理）

養老渓谷観光センターの指定管理事業を受託し、地元製品の販売や商品開発、レストラン（食堂）の運営を実施予定。加えて、養老渓谷エリアの利活用を検討し、魅力向上と観光消費額の増強を図る。

②駐車場の運営（指定管理事業）

町が整備済みであり栗又駐車場および麻綿原駐車場を、当社は町からの指定管理を受け、駐車場運営を継続する。

③もみじの植栽事業

関東一遅い紅葉として有名な養老渓谷の紅葉のボリュームアップを図り、観光資源として情報発信するため、もみじプロジェクトを実施する。

④イベントの開催

新しい顧客層への訴求として、ＪＲ東日本や地域のローカル鉄道事業者等と連携し、養老渓谷の自然を満喫できるＢＢＢＡＳＥ事業（サイクリング）を立案・実施し、地域に賑わいを創出する。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト

「ひと・まち・みどり 未来に光り続けるふるさと 大多喜」

「城と渓谷」のまち大多喜町は、東京圏という立地条件や、豊かな自然と歴史が残る町であり、多くの観光資源に恵まれている。

㈱わくわくカンパニー大多喜は、観光活性化を手段として大多喜町が目指す将来像である「ひと・まち・みどり 未来に光り続けるふるさと 大多喜」を実現していく。

※大多喜町が目指す将来像＝「ひと・まち・みどり 未来に光り続けるふるさと 大多喜」「歴史・文化が息づき、東京近郊でありながら豊かな自然の中で、働き、交流し、そして、子どもを産み育てたいと、若者に胸躍る期待と喜びを感じてもらえるまち」を目指す。

②コンセプトの考え方	<p>基本目標 1 産業を活性化し、働く場を創る</p> <p>基本目標 2 「住みたい」「訪れたい」という魅力を創る</p> <p>基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>基本目標 4 安心な暮らしを守り続ける</p> <p>1. 若者が地域で働きたくなるしごとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に希望する就職先が無いことが若者の町外流出の一因となっているため、観光産業を起点として町の産業活性化を図る。(株)わくわくカンパニー大多喜が中心となり、町内における企業誘致と創業環境を整備することで、町内に働く場（しごと）を増やし、人口の社会減要因の解決を図る。 ・(株)わくわくカンパニー大多喜が呼び水となる事業開拓の役割を担い、事業者の参入や起業がしやすくなるよう地域における事業環境を整備する。 ・また本町が示す地域観光のコンセプト「観光総合戦略」に基づき、(株)わくわくカンパニー大多喜が中心となって効率的な地域プロモーションや観光客の滞在時間延長、消費拡大に向けた具体的な活動・事業等を行うことにより、地域の観光業の稼ぐ力と生産性を向上させ、地域経済の活性化を図る。 <p>2. 大多喜で結婚・出産・子育てが出来る環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の結婚・出産・子育ての阻害要因となっている経済的理由を解決するため、生産性向上による仕事の質（賃金、雇用形態、働き甲斐）を高める。 ・親世代や若者は都会で働くよりも精神的に安定し、子ども達は自然に触れながら良い環境で教育を受けることができる。 <p>3. 「住みたい」「訪れたい」という魅力のある観光まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光総合戦略や各基本計画により、地域ごとの観光コンセプトを統一することができ、まち全体の魅力向上に繋がる。 ・過疎化により増加した空き家・空き店舗を、事業者参入や移住定住のきっかけとして活用することで、町の賑わい創出に寄与することができる。 ・現代の観光客が楽しめる観光コンテンツを整備し積極的に对外発信することで、学生や社会人の団体や、空港からのアクセスが良いことから訪日外国人など、新たな観光客を開拓できる。 <p>4. 交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町通りの景観保持と古民家・商家の商業利用、街歩きが楽しめる環境整備により、観光客の満足度とリピート率が向上する。 ・町民と観光客の交流の場である大多喜県民の森に、現代の利用者のニーズに合ったコンテンツを整備することで、学生の団体宿泊客など新たな客層を取り込むことが可能となり、交流人口の増加を図ることができる。 ・自然と温泉旅館が売りの養老溪谷の資源を磨き上げることで、観る、買う、食べる、泊まるというコンテンツを揃え、観光消費の拡大に繋げることができる。
------------	---

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興の指針として大多喜町が策定する「大多喜町総合戦略」および地域別のアクションプランである3つの「基本計画」を共有し、戦略に沿って、観光行政の運営を総合的かつ計画的に推進する。計画の実施は主に当社が担う。 ・当社では、3ヶ月に1回の取締役会および年1回の株主総会にて戦略の共有を図る。当社取締役および株主は、行政と多様な産業の地元事業者から構成されていることから、当社にて共有することで、地域全体への戦略の共有を図ることができる。 <p>(例) DMOを中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を〇月に1回程度設けるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施。</p> <p>(例) 活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した事業報告書を作成し、地域の関係者に説明を行うとともに、HPで公表。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野の専門家と連携し、情報や意見交換を行うことで体験内容の品質の維持・向上を図る。 ・観光客に対するサービス品質を、アンケート等により評価・向上させる仕組みを構築する。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>観光総合戦略の共有とプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大多喜町と(株)わくわくカンパニー大多喜は、日々情報共有を実施し、地域の多様な関係者間では、観光総合戦略や共通課題の共有、生産性向上に向けた活動を実施していく。 ・養老渓谷地域では、地元旅館や事業者から成る養老渓谷農泊推進協議会が新しいブランドイメージ（ブランドストーリー・ロゴ・キャッチコピー）を策定。大多喜町や(株)わくわくカンパニー大多喜と内容を共有しており、それらを活用して統一した情報発信、プロモーションを行う。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●旅行消費額 (一人当り単価) (円)	目標	4,600	5,000	5,300	5,400	5,500	5,600
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	5,205	5,400	5,241			
		(-)	(-)	(-)			
●延べ宿泊者数 (人)	目標	35,400	35,400	40,500	41,000	42,000	42,500
		(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)
	実績	30,191	40,425	33,488			
		(40)	(114)	(445)			
●来訪者満足度 (%)	目標	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	94.8	97.5	98.5			
		(-)	(-)	(-)			
●リピーター率 (%)	目標	80.0	81.0	82.5	84.0	85.0	85.0
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	83.2	86.8	89.2			
		(-)	(-)	(-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

(株)わくわくカンパニー大多喜の関係者である大多喜町観光協会、養老溪谷観光協会、養老溪谷旅館組合、大多喜町商工会、大多喜町商工観光課と連携してデータ調査を行う。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

大多喜町駅前にある町の観光拠点である観光センター「観光本陣」にて拠点アンケートを行いデータ収集する。令和4年度の目標を5,000円として、令和5年度までに5,300円を目指す。

●延べ宿泊者数

各宿泊施設の報告を大多喜町が集計し、毎年千葉県が「観光入込調査」と併せて、自治体ごとの宿泊者数を公表している。

目標値は、R4年の実績値から増加目標とした。

●来訪者満足度

大多喜町駅前にある町の観光拠点である観光センター「観光本陣」にてアンケートを実施し、「大変満足」「おおむね満足」の合計値とし、現状の高い満足度を維持するため目標値とした。

●リピーター率

大多喜町駅前にある町の観光拠点である観光センター「観光本陣」にてアンケートを実施し、「再訪したい」割合を目標値として設定。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●観光入込客数 (人)	目標	1,032,000 (-)	1,032,000 (-)	1,035,000 (-)	1,085,000 (-)	1,135,000 (-)	1,190,000 (-)
	実績	1,053,928 (-)	989,881 (-)	1,253,506 (-)			
●(WEBアクセ ス数 (数)	目標	15,839 (-)	18,875 (-)	23,200 (-)	34,900 (-)	36,500 (-)	38,100 (-)
	実績	21,134 (-)	31,785 (-)	37,437 (-)			
●住民満足度 (%)	目標	74.0 (-)	75.0 (-)	80.0 (-)	80.5 (-)	81.0 (-)	81.5 (-)
	実績	81.0 (-)	78.2 (-)	69.3 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

(株)わくわくカンパニー大多喜の関係者である大多喜町観光協会、養老溪谷観光協会、養老溪谷旅館組合、大多喜町商工会、大多喜町商工観光課と連携してデータ調査を行う。

【設定にあたっての考え方】

●観光入込客数

各観光施設の報告を大多喜町が集計して毎年千葉県が「観光入込調査」として公表している。
目標値は、2024年度以降は2022年度実績値に対し各年5%増とした。

●WEBアクセス数

(株)わくわくカンパニー大多喜及び山の駅養老溪谷喜楽里のHPへのアクセス数を図る。
目標値は、2022年度の実績値31,785を基準とし、2024年度は10%増加、2025年度は15%増加、2026年度は20%増加を目指す。

●住民満足度

大多喜町の町民の男女2,000人に対するアンケート調査が実施され「とても愛着を感じている」「どちらかというと愛着を感じている」の合計値を集計した。2021年度以降はアンケート調査が実施されなかったため、転出者を対象としたアンケート調査により、35の項目ごとに「満足」「やや満足」の合計値を集計した。目標値は2022年の実績値に対し2023年度は2%増、2024年度以降は0.5%増とした。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３） 年度	20,393,703	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場指定管理受託業務 9,242,800 ● 大多喜町補助金 3,000,000 ● 養老溪谷観光センター運営 2,308,939 ● 観光振興事業補助金（国） 3,362,459 ● 商品売上収入 1,339,391 ● その他収入 1,140,114
2022（Ｒ４） 年度	19,450,122	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場指定管理受託業務 6,090,592 ● 大多喜町補助金 3,000,000 ● 養老溪谷観光センター運営 2,715,821 ● 商品売上収入 1,827,697 ● ふるさと納税事業収入 4,468,461 ● その他収入 1,347,551
2023（Ｒ５） 年度	25,037,250	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場指定管理受託業務 4,538,399 ● 大多喜町補助金 3,000,000 ● 養老溪谷観光センター運営 2,626,974 ● 商品売上収入 2,060,040 ● ふるさと納税事業収入 5,282,565 ● ｵｹｰｼｵﾝｻｰﾋﾞｽ事業収入 2,234,224 ● 観光ｺﾝﾃﾝﾂ造成支援事業収入 4,000,000 ● その他収入 1,295,048
2024（Ｒ６） 年度	49,807,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場指定管理受託業務 5,446,000 ● 大多喜町補助金 3,000,000 ● 養老溪谷観光センター運営 2,500,000 ● 商品売上収入 2,050,000 ● ふるさと納税事業収入 5,200,000 ● ｵｹｰｼｵﾝｻｰﾋﾞｽ事業収入 2,200,000 ● 県民の森指定管理受託業務 28,685,000 ● その他収入 726,000
2025（Ｒ７） 年度	48,422,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場指定管理受託業務 5,446,000 ● 大多喜町補助金 3,000,000 ● 養老溪谷観光センター運営 2,500,000 ● 商品売上収入 2,050,000 ● ふるさと納税事業収入 5,200,000 ● ｵｹｰｼｵﾝｻｰﾋﾞｽ事業収入 2,200,000

		<ul style="list-style-type: none"> ● 県民の森指定管理受託業務 27,300,000 ● その他収入 726,000
2026（R8） 年度	47,906,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場指定管理受託業務 5,446,000 ● 大多喜町補助金 3,000,000 ● 養老溪谷観光センター運営 2,500,000 ● 商品売上収入 2,050,000 ● ふるさと納税事業収入 5,200,000 ● ロケーションサービス事業収入 2,200,000 ● 県民の森指定管理受託業務 26,784,000 ● その他収入 726,000

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3） 年度	14,437,241	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光コンテンツの運営 5,154,212 ● 大多喜町補助事業 3,000,000 ● 観光庁観光振興補助事業 3,362,459 ● 一般管理費 2,920,570
2022（R4） 年度	13,667,233	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光コンテンツの運営 5,837,433 ● 大多喜町補助事業 3,134,117 ● マーケティング調査事業 792,000 ● 一般管理費 3,903,683
2023（R5） 年度	20,886,617	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光コンテンツの運営 9,353,935 ● 大多喜町補助事業 3,153,282 ● マーケティング調査事業 370,000 ● 一般管理費 8,009,400
2024（R6） 年度	47,868,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光コンテンツの運営 35,409,000 ● 大多喜町補助事業 3,000,000 ● マーケティング調査事業 370,000 ● 一般管理費 9,089,000
2025（R7） 年度	47,868,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光コンテンツの運営 35,409,000 ● 大多喜町補助事業 3,000,000 ● マーケティング調査事業 370,000 ● 一般管理費 9,089,000
2026（R8） 年度	47,868,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光コンテンツの運営 35,409,000 ● 大多喜町補助事業 3,000,000 ● マーケティング調査事業 370,000 ● 一般管理費 9,089,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

大多喜町においては、入湯税を導入しているためこれに加えて宿泊税の導入は難しい。
 (株)わくわくカンパニー大多喜は、これまでの町営駐車場の指定管理及び養老溪谷観光センターの指定管理業務に加え、令和6年度より千葉県立大多喜県民の森指定管理業務を新たに開始した。
 この他、ロケーションサービス事業やふるさと納税返礼品事業等により安定的な運営資金を確保し、もみじの植栽事業、イベントの開催などを実施することで継続的に自立運営していく。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

千葉県夷隅郡大多喜町は、(株)わくわくカンパニー大多喜を大多喜町における観光地域づくり法人として認めるものであり、今後も地域DMOとして活動していくことを強く望むものです。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複なし

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	米本 和弘
担当部署名（役職）	取締役
郵便番号	298-0216
所在地	千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 270-1
電話番号（直通）	0470-64-6720
FAX番号	0470-64-6723
E-mail	mail@Wakuwakuotaki.jp

1 1 . 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	千葉県・大多喜町
担当者氏名	大竹 義弘
担当部署名（役職）	商工観光課 観光係長
郵便番号	298-0216
所在地	千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 270-1
電話番号（直通）	0470-82-2176
F A X 番号	0470-82-6860
E - m a i l	kanko@town.otaki.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

千葉県 夷隅郡大多喜町

【設立時期】平成30年8月27日

【設立経緯】区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO
新設

【代表者】代表取締役 平林 昇

【マーケティング責任者(CMO)】鳥居 浩

【財務責任者(CFO)】米本 和弘

【職員数】15人(常勤10人(正職員9人・出向等1人)、非常勤5人)

【主な収入】

収益事業 25百万円(R5年度決算)

【総支出】

事業費 13百万円、一般管理費 8百万円(R5年度決算)

【連携する主な事業者】

- ・大多喜町
- ・(一社)大多喜町観光協会
- ・(有)たけゆらの里大多喜
- ・養老渓谷観光協会
- ・養老渓谷旅館組合
- ・いすみ鉄道(株)

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年 7月30日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (円/人)	目標	4,600 (—)	5,000 (—)	5,300 (—)	5,400 (—)	5,500 (—)	5,600 (—)
	実績	5,205 (—)	5,400 (—)	5,241 (—)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	35,400 (300)	35,400 (300)	40,500 (300)	41,000 (300)	42,000 (300)	42,500 (300)
	実績	30,191 (40)	40,425 (114)	33,488 (445)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	99.0 (—)	99.0 (—)	99.0 (—)	99.0 (—)	99.0 (—)	99.0 (—)
	実績	94.8 (—)	97.5 (—)	98.5 (—)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	80.0 (—)	81.0 (—)	82.5 (—)	84.0 (—)	85.0 (—)	85.0 (—)
	実績	83.2 (—)	86.8 (—)	89.2 (—)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ①大多喜の歴史的資源に興味を持つ顧客
- ②豊かな自然に興味を持つ顧客

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

大多喜町における観光関連基本計画の一部を町と協力して実施する。

- ①養老渓谷観光センターの運営
- ②指定管理事業による駐車場の運営
- ③もみじの植栽事業
- ④各種イベントの開催

【観光地域づくりのコンセプト】

- ①産業を活性化し働く場の創出
- ②「住みたい」「訪れたい」という魅力の創出

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・養老渓谷出世観音登録商標取得
- ・養老渓谷観光センターの指定管理
- ・養老渓谷もみじ植栽プロジェクト事業
- ・ふるさと納税返礼品取扱業務開始
- ・バーベキュー場の開始

【受入環境整備】

- ・2次交通の企画提案の実施
- ・駐車場4か所の指定管理受託
- ・養老渓谷観光センター周辺
環境整備

【情報発信・プロモーション】

- ・会社ホームページの作成
- ・観光情報サイト開設
- ・養老渓谷観光センター
ホームページ作成
- ・大多喜ロケーションサービス
業務の開始

【山の駅養老渓谷喜楽里】



【遠見の滝】

